

平成21年度 第一学年シラバス

英 語	・ ・ ・ ・ ・	p 2	～	p 11
国 語	・ ・ ・ ・ ・	p 12	～	p 17
数 学	・ ・ ・ ・ ・	p 18	～	p 23
理 科	・ ・ ・ ・ ・	p 24	～	p 27
地歴公民	・ ・ ・ ・ ・	p 28	～	p 31
情 報	・ ・ ・ ・ ・	p 32	～	p 33
保健体育	・ ・ ・ ・ ・	p 34	～	p 41
家庭科	・ ・ ・ ・ ・	p 42	～	p 43



履修学年	1学年	履修コース	特進	履修条件	必修	単位数	4単位
教科	英語			科目	英語I		
教科書	CROWN English Series [I] (出版社:三省堂)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)	
1 学 期	4	高校英語学習のオリエンテーション (CROWN) Lesson 1 New Faces, New Places [人物・生き方 / 自己紹介]	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> Lesson 1, Lesson2 の本文、文法事項、 熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.1+2 <学習ポイント> * 本文書写・和訳等、ノートの作り方を学 ぶ。 * 発音記号の読み方を学ぶ。 * 辞書の引き方を学ぶ。 * 中学の基礎を復習	
	5	Lesson 2 When I Was Sixteen. [生き方・芸術 / スピーチ] Activity Workshop 1 Getting to Know Each Other		
	6	Lesson 3 Abu Simbel -Rebirth on the Nile- Lesson 4 Punana Leo. A voice of Hawaii [言葉・民族・文化 / スピーチ]	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> Lesson 3, Lesson4 の本文、文法事項、 熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.3+4 D S22stages (p.1～p.15) <学習ポイント> * 英語学習の中で文法の知識を文法の 本を使って整理する。 * テーマの背景知識の重要性を知る。 * 中学の基礎を復習	
	7	Activity Workshop 2 Describing a Person		
	8	Reading 1 Fast Food		
	2 学 期	9	スピーチコンテスト[クラス大会] Lesson 5 Diving into Mystery. [科学 / プレゼンテーション]	中間試験10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標> Lesson 5, Lesson6 の本文、文法事項、 熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.5+6 D S22stages (p.16～p.39) <学習ポイント> * スピーチコンテストの準備をする。 * 抽象的な内容の英文を精読する。 * 中学の基礎を復習
		10	Lesson 6 Living with Chimpanzees. [動物・環境 / イデオロギ-] Activity Workshop 3 Reading Classifieds	
11		Lesson 7 Not So Long Ago. [平和・歴史 / スピーチ] Lesson 8 Good Ol' Charlie Brown. [生き方・芸術 / 学校新聞]	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> Lesson 7, Lesson8 の本文、文法事項、 熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.7+8 D S22stages (p.40～p.55) <学習ポイント> * 英語の物語を速読する。 * 中学の基礎を復習	
12		Activity Workshop 4 Making Suggestions Reading 2 The Green Door Activity Workshop 5 Making Decisions Optional Lesson The Making of Scientific Revolutions		
		Optional Reading :A Visit from Saint Nicholas		

履修学年	1学年	履修コース	I類選抜	履修条件	必修	単位数	3単位
教科	英語			科目	英語I		
教科書	CROWN English Series [I] (出版社:三省堂)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	高校英語学習のオリエンテーション (CROWN) Lesson 1 New Faces, New Places(文法事項のみ) [人物・生き方 / 自己紹介]	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> Lesson 1, Lesson2 の本文、文法事項、 熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.1+2 <学習ポイント> * 本文書写・和訳等、ノートの作り方を学 ぶ。 * 発音記号の読み方を学ぶ。 * 辞書の引き方を学ぶ。 * 中学の基礎を復習
	5	Lesson 2 When I Was Sixteen. [生き方・芸術 / スピーチ] Activity Workshop 1 Getting to Know Each Other 【中間試験】	
	6	Lesson 3 Abu Simbel -Rebirth on the Nile-	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> Lesson 3 の本文、文法事項、熟語・単 語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.3 <学習ポイント> * 英語学習の中で文法の知識を文法の 本を使って整理する。 * テーマの背景知識の重要性を知る。 * 中学の基礎を復習
	7	Lesson 4 Punana Leo. A voice of Hawaii [言葉・民族・文化 / スピーチ] Activity Workshop 2 Describing a Person 【期末試験】	
2 学 期	8	スピーチコンテスト(クラス大会) 【夏期講座】 【学習合宿】	中間試験10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標> Lesson 4, Lesson5 の本文、文法事 項、熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.4+5 <学習ポイント> * スピーチコンテストの準備をする。 * 抽象的な内容の英文を精読する。 * 中学の基礎を復習
	9	Lesson 5 Diving into Mystery. [科学 / プレゼンテーション] 【中間試験】	
	10	Lesson 6 Living with Chimpanzees. [動物・環境 / インタビュー]	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> Lesson 6, Lesson7 の本文、文法事 項、熟語・単語などに習熟する。 CROWNWORKBOOK L.6+7 <学習ポイント> * 英語の物語を速読する。 * 中学の基礎を復習
	11	Activity Workshop 3 Reading Classifieds 【期末試験】	
12	Lesson 7 Not So Long Ago.(文法事項のみ) [平和・歴史 / スピーチ] Activity Workshop 4 Making Suggestions Optional Reading :A Visit from Saint Nicholas		

履修学年	1	履修コース	・ 類	履修条件	必修	単位数	3
教科	英語			科目	英語		
教科書 副教材	Polestar(数研出版) デュアルスコープ総合英語(数研出版)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学	4	高校英語学習のオリエンテーション Lesson 1 「How Do You Spell It?」	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> Lesson 1 ・日本人の英語の綴り間違いに関心を持ち、具体例や自分の意見を発表する。
	5		<学習ポイント> to不定詞(名詞的用法)・動名詞 現在分詞、過去分詞の形容詞的用法
	6	Lesson 2 「Fifty Years of Snoopy」	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> Lesson 2 3 ・文脈からの推測で文意がとれるようにし、英語の漫画の面白さを実感する。 ・L3は速読程度にとどめる。
	7	Lesson 3 「The Story of Sushi」	<学習ポイント> 関係代名詞(who, which, that, whose) It seems that / seems to不定詞 as well as / either or to不定詞(形容詞的用法、副詞的用法)現在完了・現在完了進行形
2 学 期	8	Lesson 4 「Look at the Person I Am Inside」	中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標> Lesson 4 5 ・コンピューターやボランティアについての関心を持つ。 ・L5は速読程度にとどめる。
	9	Lesson 5 「Into the Deep」	<学習ポイント> 過去完了・関係代名詞what S + V + O + 原型不定詞 関係副詞
	10		期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> Lesson 6 7 ・アラスカの自然や人々、またカメラマン星野道夫氏の著作について学ぶ。 ・L7は速読程度にとどめる。
	11	Lesson 6 「The Trip That Changed My Life」	<学習ポイント> S + V + 現在分詞・現在分詞を用いる構文・強調構文 S + V + O + O(why, howなど) 仮定法過去
	12	Lesson 7 「Ono Yoko: The World's Most Famous Unknown Artist」	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	Lesson 8 「Rice and Ducks : A Winning Combination」 復習プリント 問題集を解く センター受験対策	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> Lesson 8 ・アイガモ農法を通して有機農業、食品の安全、環境問題に目を向ける。 <学習ポイント> S + V + O + 現在分詞 仮定法過去完了 助動詞 + 受け身
	2		
	3		

学習上のアドバイス

英語の学習には予習、復習が不可欠です。特に英語では予習の段階で、教科書の本文をノートに書き写すこと、意味のわからない単語や熟語は必ず辞書で調べ習得すること。自分の力で本文をどこまで訳せるか、ノートに訳を書いておくことが予習の段階では大切です。授業では、自分の訳を確認し、新出文法の確認、習得に努めてください。地道に取り組み、かけた時間に相応して英文を読み進めることのできる力がつきます。英語検定3級は必ず1年生のうちに習得しましょう。

評価の観点および方法

観点 コミュニケーションへの関心・意欲・態度・表現の能力・理解の能力・言語や文化についての知識、理解。

方法 1、定期試験(中間、期末試験)、実力試験、実力判定試験、小テストの得点
2、課題、宿題、英語スピーチの達成状況
3、欠課状況や授業態度等の普段点

推薦参考書・問題集等

『速読英単語 入門編』(Z会出版)
『デュアルスコープ総合英語』(数研出版)
『デュアルスコープ総合英語 ワークブック』(数研出版)

履修学年	1	履修コース	特・選・類	履修条件	必修	単位数	2
教科	英語			科目	Oral Communication		
教科書	Voice Oral Communication(開拓社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	Introduction Communication Pointer 1 Communication Pointer 2 Communication Pointer 3	・OCの授業の目的と目標を知る。 ・コミュニケーションの基本的なマナーを学ぶ。 ・表情や、身振り手振りで自分を表現する。 ・授業で使う英語表現を学ぶ。 ・自己紹介、初対面の挨拶を身につける。
	5	Lesson 1 : Nice to meet you.	中間試験 Speaking Test 1 中間試験の前の週 Self-introduction & Question and Answers with the OC teachers
	6	Lesson 2 : What subject do you like the best?	・好み、所属、頻度に関する表現を学ぶ。 ・予定、提案、勧誘に関する表現を学ぶ
	7	Lesson 3 : Are you doing anything this Sunday? Lesson 4 : I'll show you the way. Catch the numbers 1 (P12)	期末試験7月1日(水)~3日(金) <範囲・到達目標> テキストのはじめからL.3までのListening Test *特進・選抜は教科書のほかに英検3級レベルの問題を出題する。 *依頼、承諾、道案内に関する表現を学ぶ。
2 月 期	9	Lesson 5 : On the telephone.	・電話に関する表現を学ぶ。 中間試験
	10	Lesson 6 : At a restaurant.	Speaking Test 2 中間試験の前の週 Questions and answers about directions ・レストランで使う表現を学ぶ
	11	Lesson 7 : At a department store	・買い物に関する表現を学ぶ
	12	Lesson 8 : What's "miso" soup? Song: Happy Christmas	・相手の感想を聞いたり、説明する表現を学ぶ。 ・クリスマスの歌を楽しむ。 期末試験12月7日(月)~9日(水) <範囲・到達目標> テキストのはじめからL.8までのListening Test *特進・選抜は教科書のほかに英検3級レベルの問題を出題する。
1 2	1	Lesson 9:What's the matter? Lesson 10: Talking about the future.	・体調に関する英語表現を学ぶ。 ・希望や理由を述べる表現を学ぶ。
	2	Lesson 11: Have a nice flight! Song : What a wonderful world!	・空港での表現を学ぶ。

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	3		期末試験 3月3(水)～5日(金) <範囲・到達目標> テキストのはじめからL.11までの Listening Test *特進・選抜は教科書のほかに英検 3級レベルの問題を出題する。 ・金額、分数の表現を学ぶ。 ・英語の広告を作り、グループで発表する。 ・グループでスキットを作り、演じて発表する。 ・英語の歌を聴き、音の違いや、意味について鑑賞する。
		Catch the numbers 2	
	3	Speak out 1	
		Speak out 2	
		Song : Bridge over troubled water	
		Song : Honesty	
		Song : I just called to say I love you.	

学習上のアドバイス

ListeningであってもSpeakingであっても、単語や熟語が基礎になるので、テキストに出てきている単語、熟語、いろいろな表現は必ず覚えるようにする。
 授業中にFETの生の英語をよく聞き、前後関係やその場の状況を考えながら、話の内容を理解するようにする。分からない場合は繰り返してもらおう。
 単語と単語がつながって発音されるので、どのように聞こえるのか注意し、また自分で同じように発音して音を確認する。
 日常的な簡単な英語を学習するが、使い方の違いは生活習慣、文化の違いを表しているなので、その点を理解するようにする。
 ラジオやテレビ、ビデオ、英語の歌など身近にある英語を利用して慣れ親しんでみる。FETの先生にも積極的に話しかけるチャンスを持つ。

評価の観点および方法

- 観点** ・コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 ・表現、理解の能力
 ・言語や文化についての知識、理解
- 方法** ・定期試験
 ・定期試験の直前に行われるSpeakingテスト
 ・授業中の態度
 ・出欠状況

推薦参考書・問題集等

・図書室English Coner にある 英語の読み物(CD付き)

履修学年	1	履修コース	特進	履修条件	必修	単位数	5
教科	国語			科目	国語総合（現代文）		
教科書 副教材	教科書 『国語総合』（出版社：第一学習社） 副教材 1 『セレクト漢字』（桐原書店） 2 『やさしく詳しい古典文法』（尚文出版） 3 『新国語便覧』（第一学習社）						

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
1 学期	4	1 評論（一） 「独創を生む条件」（小関智宏）	<p>中間試験 5月26日（火）～28日（木） <範囲・到達目標> ・評論文の読み方を習得し、筆者の思いや考えを理解する。 ・抽象的な表現や言い換え表現を具体的な表現で表す。 ・小説の舞台である時代・状況をとらえる。 ・人物の行動と心理の推移をつかむ。 ・作品の主題を考え、作者の意図をさぐる。 ・人物のキャラクターをつかむ。</p> <p><学習のポイント> ・評論の文脈の流れをつかみ、筆者の主張や論理構造を理解する。 ・作品の主題を考え、作者の意図を理解する。 ・人物同士が互いの関わりの中で、生き方がどのように変化したか、理解する。</p> <p>期末試験 7月1日（水）～3日（金） <範囲・到達目標> ・文語詩・自由詩・散文詩を読み、言葉の世界の内容を表現理解する。 ・筆者の言語に対する考え方（着想と思考）を理解する。 ・筆者の言語に対する考え方（着想と思考）を理解する。</p> <p><学習のポイント> ・東洋と西洋の文化の違いから、日本人の気質を理解する。 ・筆者の言語に対する考え方（着想と思考）を理解する。</p>
		2 評論（一） 「知的創造のヒント」（外山滋比古）	
	5	3 小説（一） 「羅生門」（芥川龍之介）	
		4 小説（一） 「一瞬を生きる」（原田宗典）	
	6	5 詩 「いしのうへ」（三好達治） 「一つのメルヘン」（中原中也） 「木」（田村隆一） 「i was born」（吉野弘）	
	6	6 評論（二） 「水の東西」（山崎正和）	
	7	7 評論（二） 「ものごとば」（鈴木孝夫）	
2 学期	8	8 小説（二） 「夢十夜」（夏目漱石）	<p>中間試験 10月7日（水）～9（金） <範囲・到達目標> ・明治の文学に親しむとともに、漱石の独自の世界観を理解する。 ・作者の意図する比較形式の中から、作者のねらいとすることを理解する。 ・作者が関わってきた事柄に対して、その意図を見つける。 ・形式と内容を正しくつかむ。</p> <p><学習のポイント> ・近代独特の文語体に慣れるとともに、作者の中心思想を理解する。 ・作者が考える「近代の呪縛」について、自分の意見をしっかり持つようにする。 ・作者の人生観を通して、作者の意図を明確にし、それに対して自分の考えをまとめる。 ・言葉の世界が表現する作者の思想と感性を理解する。</p> <p>期末試験 12月7日（月）～9日（水） <範囲・到達目標> ・自分とはいかなる存在か、という作者の問いかけから全体に流れる発想を理解する。 ・現代社会の通信手段として、ネットが存在するとともに、このことがもたらす事態を理解する。 ・私小説を通して、作者の独自の世界観を理解する。</p> <p><学習のポイント> ・客観的な視点を通して、自分というものの存在を理解する。 ・公私という言葉の意味を理解するとともに、外来語にも理解できる力を持つ。 近代文学の持つ世界観を通して、自分の観察力を身につける。</p>
		9 随想 「人間はどこまで動物か」（日高敏隆）	
	9	10 随想 「材のいのち」（幸田文）	
		11 短歌と俳句 「その子二十」 「こころの帆」	
	10	12 評論（三） 「自分・この不思議な存在」（鷲田清一）	
	11	13 評論（三） 「ネットが崩す公私の境」（黒崎政男）	
		14 小説（三） 「城の崎にて」（志賀直哉）	
12			

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
3 学 期	1	15 小説（三） 「空き缶」（林京子）	学年末試験 3年：1月27日（水）～29（金） 1・2年：3月3日（水）～5日（金） <範囲・到達目標> ・作者の実体験を通して、訴えていることを理解する。 ・対比構造を理解した上で、内容の理解する。 ・資本主義や同じ原義の商業主義が、世界中にもたらしたことは何か、語彙力および語句意味に注意しながら読み解く。 <学習のポイント> ・作者の原爆体験を基に今がどのような時代であるか、今がどのような時代かを自分で把握し、考えをまとめる。 ・「間」という言葉が、日本人にとって何であるかを理解し、比較構造の解き方を学ぶ。 ・アメリカ型の資本主義が、文化を破壊していくこと、それがこの後に何をもたらしたかをよく考え、自分の考えをまとめる。
		16 評論（四） 「『間』の感覚」（高階 秀爾）	
	2	17 評論（四） 「世界中がハンバーガー」（多木浩二）	
	3		
学習上のアドバイス			
<p>「国語総合」は「現代文編」「古文編」「漢文編」の3分野に分かれています。学習の基本は</p> <p>(1) 予習・復習をしっかり行う。特に高校では予習に力を入れること。</p> <p>(2) 予習では教材を何度も読む。次に語句の意味調べ。（古文は古語調べ）これは必ずやる習慣を付ける。</p> <p>(3) 授業は集中して臨む。また板書の取り方、ノートの使い方を工夫する。</p> <p>(4) 定期試験・実力試験を上手に活用し、暗記すべきことは確実に覚える。</p> <p>(5) 平日頃から読書に親しむこと。読解力は読書量に比例することが多い。</p>			
評価の観点および方法			
<p>(1) 定期試験（中間・期末試験）・実力試験・漢字テスト・その他小テストの得点</p> <p>(2) 宿題、提出物の達成度</p> <p>(3) 授業への積極的な参加</p> <p>(4) 各種試験の積極的な参加</p> <p style="text-align: right;">以上4項目について総合的に判断し、評価する。</p>			
推薦参考書・問題集等			
現代文		「出口の現代文入門の実況中継」上・下（語学春秋社） 「船口の最強の現代文」1・2（学研）	
古文		「高1からの望月古文講義の実況中継」（語学春秋社） 「土屋の古文講義1・2」（代々木ライブラリ）	
漢文		「漢文早覚え速答法」（学研）	

履修学年	1	履修コース	特進	履修条件	必修	単位数	5
教科	国語			科目	国語総合（古典）		
教科書 副教材	教科書 『国語総合』（出版社：第一学習社） 副教材 1 『セレクト漢字』（桐原書店） 2 『やさしく詳しい古典文法』（尚文出版） 3 『新国語便覧』（第一学習社）						
学期	月	授業計画		到達目標（定期試験範囲）			
1 学期	4	1 古文入門 「児のそら寝」（宇治拾遺物語） 「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語） 「顕宗といふ笛吹き」（十訓抄）		中間試験 5月26日（火）～28日（木） <範囲・到達目標> ・古文の特色である歴史的仮名遣いに慣れる。 ・随筆的な評論を正しく読解し、「エディターシップ」「二次的創造」の意義を考え、作者の主張を理解する。 ・古典文法の用言、係り結びを理解する。 ・漢文訓読のきまりを理解し、基本的な方法を身に付ける。			
	5	2 漢文入門 漢文に親しむ（一）（二）		<学習のポイント> ・古文説話集を読んで、登場人物の人物像をつかみ、心情を読み取る。 ・人物描写、情景描写から伏線をとらえ、心情を理解する。 ・漢文を訓点を使い方を理解し、書き下し文をマスターする。			
	6	3 物語を楽しむ 「かぐや姫のおひたち」（竹取物語） 「かぐや姫の嘆き」（竹取物語）		期末試験 7月1日（水）～3日（金） <範囲・到達目標> ・古典文法の助詞を理解する。 ・中国の故事成語を理解する。			
	7	4 漢文入門 「漁夫之利」（戦国策） 「狐借虎威」（戦国策） 「守株」（韓非子）		<学習のポイント> ・古文は現代口語訳ができるように練習する。 ・漢文の訓読は繰り返し学習をすることが大切。			
2 学期	8	5 物語を楽しむ 「芥川」（伊勢物語） 「東下り」（伊勢物語） 「筒井筒」（伊勢物語）		中間試験 10月7日（水）～9日（金） <範囲・到達目標> ・古文の物語の読解に慣れる。 ・和歌の表現技法を理解する。 ・古典における月、時刻、方位を理解する。 ・無常観を理解する。			
	9	6 随筆を読む 「つれづれなるままに」（徒然草） 「ある人、弓射ることを習ふに」（徒然草） 「丹波に出雲といふ所あり」（徒然草） 「奥山に、猫またといあものありて」（徒然草） 「九月二十日のころ」（徒然草）		<学習のポイント> ・古文の古語調べ、和歌の修辞技法、助動詞を理解する。 ・古文の古語調べ、和歌の修辞技法、助動詞、敬語法を理解する。 ・故事成語の由来を理解する。			
	10	7 古代の史話 「先従隗始」（十八史略） 「刎頸之交」（十八史略） 「臥薪嘗胆」（十八史略）		期末試験 12月7日（月）～9日（水） <範囲・到達目標> ・古文の随筆を読み、その特徴を理解する。 ・敬語表現を理解する。 ・和歌の修辞法理解する。 ・五七調のリズムを理解する。 ・唐詩の形式、構成、押韻など理解する。 ・作者の心情を理解する。			
	11	8 軍記物語の世界 「祇園精舎」（平家物語） 「木曾の最後」（平家物語）		<学習のポイント> ・軍記独特の書き方を理解するとともに、中世の古典表現を理解する。 ・和歌の独特の世界観を理解する。 ・唐詩はリズムを味わい、時代背景や自然のスケールの違いを理解しながら、中国の漢詩を味わう。			
12	9 和歌の世界 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」						
12	10 漢詩の鑑賞 「春暁」（孟浩然） 「江雪」（柳宗元） 「江南春」（杜牧） 「静夜思」（李白） 「除夜作」（高適） 「黄鶴楼送孟浩然之広陵」（李白） 「送元二使安西」（王维） 「春望」（杜甫）						

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
3 学 期	1	10 日記と紀行 「門出」（土佐日記） 「亡児」（土佐日記） 「帰京」（土佐日記）	学年末試験 3年：1月27日（水）～29（金） 1・2年：3月3日（水）～5日（金） <範囲・到達目標> ・和歌の修辞法、敬語法の完成。 ・俳諧の修辞法の理解。 ・中国古代の思想を学ぶ ・理想郷を通じて、風刺を読み取る。 <学習のポイント> ・仮名文学の世界を理解する。 ・五七五の世界観を理解する中で、修辞法を理解する。 ・思想の中で、現代に通じるものがあることを理解する。 ・風刺を通して、現代に通じるものがあることを理解する。
	2	11 日記と紀行 「旅立ち」（奥の細道） 「平泉」（奥の細道） 「立石寺」（奥の細道）	
	3	12 中国の詩想 「学問」（論語） 「仁」（論語） 「政治」（論語）	
		13 説話の世界 「桃花源記」（陶潜）	

学習上のアドバイス

- 「国語総合」は「現代文編」「古文編」「漢文編」の3分野に分かれています。学習の基本は
- (1) 予習・復習をしっかり行う。特に高校では予習に力を入れること。
 - (2) 予習では教材を何度も読む。次に語句の意味調べ。（古文は古語調べ）これは必ずやる習慣を付ける。
 - (3) 授業は集中して臨む。また板書の取り方、ノートの使い方を工夫する。
 - (4) 定期試験・実力試験を上手に活用し、暗記すべきことは確実に覚える。
 - (5) 常日頃から読書に親しむこと。読解力は読書量に比例することが多い。

評価の観点および方法

- (1) 定期試験（中間・期末試験）・実力試験・漢字テスト・その他小テストの得点
 - (2) 宿題、提出物の達成度
 - (3) 授業への積極的な参加
 - (4) 各種試験の積極的な参加
- 以上4項目について総合的に判断し、評価する。

推薦参考書・問題集等

現代文	「出口の現代文入門の実況中継」上・下（語学春秋社） 「船口の最強の現代文」1・2（学研）
古文	「高1からの望月古文講義の実況中継」（語学春秋社） 「土屋の古文講義1・2」（代々木ライブラリ）
漢文	「漢文早覚え速答法」（学研）

履修学年	1年	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	4
教科	国語			科目	国語総合		
教科書 副教材	教科書 『国語総合』（出版社：第一学習社） 副教材 1 『セレクト漢字』（桐原書店） 2 『やさしく詳しい古典文法』（尚文出版） 3 『新国語便覧』（第一学習社）						

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
1 学期	4	1 評論（一） 「独創を生む条件」（小関智宏）	中間試験 5月26日（火）～28日（木） <範囲・到達目標> ・評論文の読み方を習得し、筆者の思いや考えを理解する。 ・抽象的な表現や言い換え表現を具体的な表現で表す。 ・古文の特殊な読み方に慣れ、だいたいのあらすじを理解する。 ・古文の特色である歴史的仮名遣いに慣れる。 ・随筆的な評論を正しく読解し、「エディターシップ」「二次的創造」の意義を考え、作者の主張を理解する。 ・語句の意味調べや、構成、要約文を進んで学習する。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。 ・古文の世界（風俗・習慣・考え方）などを知る。 ・古文と現代文の違いについてりかひする。
	5	2 古文入門 「児のそら寝」（宇治拾遺物語） 古文を読むために1（歴史的仮名遣いなど）	
	6	3 評論（一） 「知的創造のヒント」（外山滋比古） 【中間試験】	期末試験 7月1日（水）～3日（金） <範囲・到達目標> ・説話を読んで、あらすじを読み取る。 ・古典文法の用言、係り結びを理解する。 ・小説の基本的な読み方を身に付ける。
	7	4 古文入門 「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語） 古文を読むために2（品詞・活用形・係り結び） 5 小説（一） 「羅生門」（芥川龍之介） 【期末試験】 古文を読むために3 （用言の活用）	
2 学期	8	6 詩 「鶯のうへ」「一つのメルヘン」・・・	中間試験 10月6日（火）～8（木） <範囲・到達目標> ・韻文の世界に触れ、作者の心情を読み取る。 ・詩の形式・構成・修辞などを理解し、表現効果を考える。 ・漢文訓読のきまりを理解し、基本的な方法を身に付ける。 ・評論の読解方法を身に付ける。 ・古文の物語の読解に慣れる。 ・助動詞、助詞の働きについて知る。 <学習のポイント> ・韻文は声に出して読み、リズムや余韻 表現に込められた心情を理解する。 ・漢文を訓点を使い方理解し、書き下し文をマスターする。 ・評論の対照的表現の仕方から日本の文化について理解する。 ・古文は現代口語訳ができるように練習する。
	9	7 漢文入門 漢文に親しむ（一）（二）	
	10	8 評論（二） 「水の東西」（山崎正和） 9 古文 物語を楽しむ 「かくや姫のおひたち」（竹取物語） 【中間試験】	
	11	10 評論（二） 「ものことば」（鈴木孝夫） 11 漢文入門 故事三編のうち一編 「狐借虎威」（戦国策） 12 古文 物語を楽しむ 「芥川」（伊勢物語）	期末試験 12月7日（月）～9日（水） <範囲・到達目標> ・評論の読解方法を身に付ける。 ・筆者の言語に対する考え方を理解する。 ・漢文の訓読を理解し、漢文が読めるようになる。 ・中国の故事成語を理解する。 ・古文の物語の読解に慣れる。 ・和歌の表現技法を理解する。 <学習のポイント> ・評論は抽象的な表現、比喩的な表現を理解する。 ・漢文の訓読は繰り返し学習をすることが大切。 ・古文の古語調べ、和歌の修辞技法、助動詞を理解する。
	12	13 随筆を読む 『徒然草』 「つれづれなるままに」	

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
3 学 期	1	「丹波に出雲といふところあり」 14 評論(四) 「世界中がハンバーガー」(多木浩二)	学年末試験 3年：1月27日(水)～29(金) 1・2年：3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> ・唐詩の形式、構成、押韻など理解する。 ・作者の心情を理解する。 ・評論の読解を身に付ける。 ・古文の随筆を読み、その特徴を理解する。 ・敬語表現を理解する。 <学習のポイント> ・唐詩はリズムを味わい、時代背景や自然のスケールの違いを理解しながら、中国の漢詩を味わう。 ・随想と評論の違いを理解しながら、読解する。 ・古典文法をマスターしたかどうか、一年のまとめをしながら学習する。
	2	15 漢詩の鑑賞 唐詩の世界 「江雪(柳宗元)」 「江南の春(杜牧)」 「静夜思(李白)」 「登高(杜甫)」 「春望(杜甫)」	
	3	【期末試験】 古典文法のまとめ	

学習上のアドバイス

- 「国語総合」は「現代文編」「古文編」「漢文編」の3分野に分かれていますが、学習の基本は
- (1) 予習・復習をしっかり行う。特に高校では予習に力を入れること。
 - (2) 予習では教材を何度も読む。次に語句の意味調べ。(古文は古語調べ)これは必ずやる習慣を付ける。
 - (3) 授業は集中して臨む。また板書の取り方、ノートの使い方を工夫する。
 - (4) 定期試験・実力試験を上手に活用し、暗記すべきことは確実に覚える。
 - (5) 常日頃から読書に親しむこと。読解力は読書量に比例することが多い。

評価の観点および方法

- (1) 定期試験(中間・期末試験)・実力試験・漢字テスト・その他小テストの得点
 - (2) 宿題、提出物の達成度
 - (3) 授業への積極的な参加
 - (4) 各種試験の積極的な参加
- 以上4項目について総合的に判断し、評価する。

推薦参考書・問題集等

現代文	「出口の現代文入門の実況中継」上・下(語学春秋社) 「船口の最強の現代文」1・2(学研)
古文	「高1からの望月古文講義の実況中継」(語学春秋社) 「土屋の古文講義1・2」(代々木ライブラリ)
漢文	「漢文早覚え速答法」(学研)

履修学年	1年	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	4
教科	国語			科目	国語総合		
教科書 副教材	教科書 『国語総合』（出版社：第一学習社） 副教材 1 『セレクト漢字』（桐原書店） 2 『やさしく詳しい古典文法』（尚文出版） 3 『新国語便覧』（第一学習社）						

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
1 学期	4	1 評論（一） 「独創を生む条件」（小関智宏）	中間試験 5月26日（火）～28日（木） <範囲・到達目標> ・評論文の読み方を習得し、筆者の思いや考えを理解する。 ・抽象的な表現や言い換え表現を具体的な表現で表す。 ・古文の特殊な読み方に慣れ、だいたいのあらすじを理解する。 ・古文の特色である歴史的仮名遣いに慣れる。 ・随筆的な評論を正しく読解し、「エディターシップ」「二次的創造」の意義を考え、作者の主張を理解する。 ・語句の意味調べや、構成、要約文を進んで学習する。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。 ・古文の世界（風俗・習慣・考え方）などを知る。 ・古文と現代文の違いについてつかえる。
	5	2 古文入門 「児のそら寝」（宇治拾遺物語） 古文を読むために1（歴史的仮名遣いなど）	
	6	3 評論（一） 「知的創造のヒント」（外山滋比古） 【中間試験】	期末試験 7月1日（水）～3日（金） <範囲・到達目標> ・説話を読んで、あらすじを読み取る。 ・古典文法の用言、係り結びを理解する。 ・小説の基本的な読み方を身に付ける。
	7	4 古文入門 「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語） 古文を読むために2（品詞・活用形・係り結び） 5 小説（一） 「羅生門」（芥川龍之介） 【期末試験】 古文を読むために3 （用言の活用）	
2 学期	8	6 詩 「鶯のうへ」「一つのメルヘン」・・・	中間試験 10月6日（火）～8（木） <範囲・到達目標> ・韻文の世界に触れ、作者の心情を読み取る。 ・詩の形式・構成・修辞などを理解し、表現効果を考える。 ・漢文訓読のきまりを理解し、基本的な方法を身に付ける。 ・評論の読解方法を身に付ける。 ・古文の物語の読解に慣れる。 ・助動詞、助詞の働きについて知る。 <学習のポイント> ・韻文は声に出して読み、リズムや余韻 表現に込められた心情を理解する。 ・漢文を訓点を使い方を理解し、書き下し文をマスターする。 ・評論の対照的表現の仕方から日本の文化について理解する。 ・古文は現代口語訳ができるように練習する。
	9	7 漢文入門 漢文に親しむ（一）（二）	
	10	8 評論（二） 「水の東西」（山崎正和） 9 古文 物語を楽しむ 「かぐや姫のおひたち」（竹取物語）	
	11	10 評論（二） 「ものことば」（鈴木孝夫） 11 漢文入門 故事三編のうち一編 「狐借虎威」（戦国策） 12 古文 伊勢物語 「芥川」	期末試験 12月7日（月）～9日（水） <範囲・到達目標> ・評論の読解方法を身に付ける。 ・筆者の言語に対する考え方を理解する。 ・漢文の訓読を理解し、漢文が読めるようになる。 ・中国の故事成語を理解する。 ・古文の物語の読解に慣れる。 ・和歌の表現技法を理解する。 <学習のポイント> ・評論は抽象的な表現、比喩的な表現を理解する。 ・漢文の訓読は繰り返し学習をすることが大切。 ・古文の古語調べ、和歌の修辞技法、助動詞を理解する。
	12	13 随筆を読む 『徒然草』 「つれづれなるままに」	

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
3 学 期	1	「丹波に出雲といふところあり」 14 評論(四) 「世界中がハンバーガー」(多木浩二)	学年末試験 3年：1月27日(水)～29(金) 1・2年：3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> ・唐詩の形式、構成、押韻など理解する。 ・作者の心情を理解する。 ・評論の読解を身に付ける。 ・古文の随筆を読み、その特徴を理解する。 ・敬語表現を理解する。 <学習のポイント> ・唐詩はリズムを味わい、時代背景や自然のスケールの違いを理解しながら、中国の漢詩を味わう。 ・随想と評論の違いを理解しながら、読解する。 ・古典文法をマスターしたかどうか、一年のまとめをしながら学習する。
	2	15 唐詩の世界 「江雪(柳宗元)」 「江南の春(杜牧)」 「登高(杜甫)」	
	3	【期末試験】 古典文法のまとめ	
学習上のアドバイス			
<p>「国語総合」は「現代文編」「古文編」「漢文編」の3分野に分かれていますが、学習の基本は</p> <p>(1) 予習・復習をしっかり行う。特に高校では予習に力を入れること。</p> <p>(2) 予習では教材を何度も読む。次に語句の意味調べ。(古文は古語調べ)これは必ずやる習慣を付ける。</p> <p>(3) 授業は集中して臨む。また板書の取り方、ノートの使い方を工夫する。</p> <p>(4) 定期試験・実力試験を上手に活用し、暗記すべきことは確実に覚える。</p> <p>(5) 常日頃から読書に親しむこと。読解力は読書量に比例することが多い。</p>			
評価の観点および方法			
<p>(1) 定期試験(中間・期末試験)・実力試験・漢字テスト・その他小テストの得点</p> <p>(2) 宿題、提出物の達成度</p> <p>(3) 授業への積極的な参加</p> <p>(4) 各種試験の積極的な参加</p> <p style="text-align: right;">以上4項目について総合的に判断し、評価する。</p>			
推薦参考書・問題集等			
現代文		「出口の現代文入門の実況中継」上・下(語学春秋社) 「船口の最強の現代文」1・2(学研)	
古文		「高1からの望月古文講義の実況中継」(語学春秋社) 「土屋の古文講義1・2」(代々木ライブラリ)	
漢文		「漢文早覚え速答法」(学研)	

履修学年	1	履修コース	特進	履修条件	必修	単位数	数学 (4)・数学A(2)
教科	数学			科目	数学・数学A		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍)・高等学校数学A(東京書籍) ニュークオリティ 数学 + A(東京書籍) 数学・A・B基礎徹底演習(進研学参)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	4	【中学の復習】 中学三年間の総復習(数と式、関数、図形) 1章 数と式【数学】 1節 式の計算 (1)整式 (2)整式の加法・減法・乗法 (3)因数分解 2節 実数 (1)実数 (2)平方根を含む式の計算	中間試験5月26日(火)~28日(木) <範囲・到達目標> 数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、整式の四則演算・展開・因数分解を、公式を用いたり、工夫をする。
	5	2章 方程式と不等式【数学】 1節 1次不等式 (1)不等式とその性質 (2)1次不等式の解法 (3)1次不等式の応用 発展;絶対値記号を含む不等式 2節 2次方程式 (1)2次方程式の解法 (2)解の公式 (3)2次方程式の実数解の個数 (4)2次方程式の応用	教科書が学習の基本です。副教材の参考書・問題集で、知識の定着を計って下さい。 問題を正確迅速に解く訓練は必須です。多くの演習で、計算力と論理性を身につける。
	6	1章 集合と理論【数学A】 1節 集合と要素の個数 (1)集合 (2)有限集合の要素の個数 2節 命題と論証 (1)命題と条件 (2)論証 2章 場合の数と確率【数学A】 1節 順列と組合せ (1)順列 (2)組合せ (3)二項定理 発展;方程式の自然数解の数	期末試験7月1日(水)~3日(金) <範囲・到達目標> 集合の概念や性質を理解し、理論的な思考力を伸ばし、命題の考察に活かすようにする。 具体的な事象の考察を通して、順列・組合せや確率を理解し、不確定な事象を数量的に捉えることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようにする。
	7	2節 確率とその基本性質 (1)事象と確率 (2)確率の基本性質 3節 独立な試行と確率、期待値 (1)独立な試行の確率 (2)反復試行の確率 (3)複雑な事象の確率 (4)期待値	予習・復習は必要不可欠です。1時間の授業に1時間ずつの予・復習を習慣化を図りましょう。
	8	3章 2次関数【数学】 1節 関数とグラフ (1)関数 (2)2次関数とそのグラフ (3)2次関数の決定 (4)2次関数の最大・最小 発展;グラフの平行移動	中間試験10月6日(火)~8日(木) <範囲・到達目標> 二次関数を理解し、具体的な事象の考察や二次不等式を解くことに活用できるようにする。
	9	2節 2次関数のグラフと2次不等式 (1)2次関数のグラフと 軸の共有点 (2)2次不等式 (3)2次不等式の応用 発展;絶対値を含む関数のグラフ	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。
	10	3章 平面図形【数学A】 1節 三角形と比 (1)三角形と比 (2)三角形の重心・外心・内心 (3)三角形の比の定理 2節 円周角 (1)円周角の定理 (2)円に内接する四角形 3節 円と直線 (1)円と直線 (2)接線と弦の作る角 (3)方べきの定理 (4)2つの円	板書をしっかりと、授業ごとにノート整理をする。頭で解ったつもりは駄目です。条件を満たすグラフを描くことが、理解の近道です。
11	4章 図形と計量【数学】 1節 鋭角の三角比 (1)直角三角形と正接 (2)正弦・余弦 (3)三角比の相互関係 2節 三角比の拡張 (1)三角比と座標 (2)三角比の性質 3節 三角形への応用 (1)正弦定理 (2)余弦定理 (3)三角形の面積	期末試験12月7日(月)~9日(水) <範囲・到達目標> 三角比の意味・鈍角化の意義を理解し、角を基にした計量の考え方を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにする。	
12	4節 図形と計量 (1)空間図形の計量 (2)相似と計量 (3)球の体積と表面積 発展;球の体積	高校へ入学して、はじめて習う分野です。数学・数学B・数学・数学Cへと発展していく分野です。数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	数学 ・Aの総まとめ 数学 : 数と式、方程式・不等式、2次関数、 図形と計量	学年末試験 3年: 1月27日(水) ~ 29日(金) 1・2年: 3月3日(水) ~ 5日(金) <範囲・到達目標> 答えを求める過程を説明する力が 求められます。関数のグラフを用いて 方程式や不等式を解く力、図形を数 量的に捉える力、事象を数学的に捉 え、処理する力というように、個々の知 識を統合して問題が解けるようにな ったかを確認します。 数学 と数学Aの総合問題として出 題します。 学校指定の問題集は最低限取り組 み、そのほかに、推薦図書も並行して 学習することが大切です。
	2	数学A: 集合と理論、場合の数、平面図形 三角関数 【数学】 1節 一般角の三角関数 (1)一般角 (2)一般角の三角関数 (3)三角関数の間の関係 (4)弧度法 (5)いろいろな角の三角関数 (6)三角関数のグラフ (7)三角方程式と三角不等式	
	3	2節 三角関数の加法定理 (1)三角関数の加法定理 (2)2倍角・半角の公式 (3)三角関数の合成 問題・練習問題	

学習上のアドバイス

【中学の復習】

中学三年間の総復習

- ・数と式: 正負の数・文字式で基礎が築き上げられているか。四則計算が十分理解できているか要求されます。
- ・関 数: 1次方程式、1次関数、2次方程式、2次関数では中学で養った力をもとにさらなる発展が要求されます。
- ・図 形: 平面図形、空間図形の内容把握にはじまり、作図、移動、切断、組み立て等多方面にわたって中学で学んだものをより学問的に理解を深めていきます。

【高校の数学】

授業の時間が増えるだけでなく、内容がかなり深く高度になります。方程式、不等式、関数等においては図形の内容を再認識した上で角度、合同、相似形等の証明と学習を発展させていきます。とくに、1次関数や2次関数と図形の証明問題は密接な関係があります。直線や放物線の式とグラフの関係、論証等に重点を置き、具体論から一般論へスムーズに移行できることが大切です。

とくに、中3で学習した内容は中1、中2の内容に比べるといきなり難易度があがっています。中学の数学がわからなくなるはこの時期であったといっても過言ではありません。数量編の高校数学の基礎になる分野(乗法公式、因数分解、平方根、2次関数等)、図形編の合否の決め手になりやすい円、三平方の定理、空間図形を克服しなければなりません。

そこで、授業や補習等で中学の復習をし、高校への数学の橋渡しをしていきます。

評価の観点および方法

・観点は次の5項目を総合して評価します。

- 数学に対する「関心・意欲」
- 授業に対する「意欲・態度」
- 学習内容の「理解度・定着度」
- 学習活動「ノート・課題提出・単元テスト」
- 定期考査

課題: オリジナル評価問題集のプリント、授業中に配付する演習プリントの達成状況

推薦参考書・問題集等

高校数学の基本から応用まで網羅している適切な副教材を使用していますので、その問題を解き、理解するのが第一です。又、個人的に参考書を選ぶときには、最後までしきれそうなものを選びましょう。『毎日の継続こそが真の実力につながる』です。

- ・チャート式 基礎からの数学 +A (数研出版)・・・通称「青チャート」
- ・チャート式 数学 +A (数研出版)・・・通称「赤チャート」
- ・ニューアクション 数学 ・A(東京書籍)

履修学年	1	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	数学 (4)・数学A(2)
教科	数学			科目	数学・数学A		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍)・高等学校数学A(東京書籍) ニューパワーアップ 数学 + A(東京書籍)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	4	【中学の復習】 中学三年間の総復習(数と式、関数、図形) 1章 数と式【数学】 1節 式の計算 (1)整式 (2)整式の加法・減法・乗法 (3)因数分解 2節 実数 (1)実数 (2)平方根を含む式の計算	中間試験5月26日(火)~28日(木) <範囲・到達目標> 数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、整式の四則演算・展開・因数分解を、公式を用いたり、工夫をする。
	5	2章 方程式と不等式【数学】 1節 1次不等式 (1)不等式とその性質 (2)1次不等式の解法 (3)1次不等式の応用 発展;絶対値記号を含む不等式 2節 2次方程式 (1)2次方程式の解法 (2)解の公式 (3)2次方程式の実数解の個数 (4)2次方程式の応用	教科書が学習の基本です。副教材の参考書・問題集で、知識の定着を計って下さい。 問題を正確迅速に解く訓練は必須です。多くの演習で、計算力と論理性を身につける。
	6	1章 集合と理論【数学A】 1節 集合と要素の個数 (1)集合 (2)有限集合の要素の個数 2節 命題と論証 (1)命題と条件 (2)論証 2章 場合の数と確率【数学A】 1節 順列と組合せ (1)順列 (2)組合せ (3)二項定理 発展;方程式の自然数解の数 2節 確率とその基本性質 (1)事象と確率 (2)確率の基本性質	期末試験7月1日(水)~3日(金) <範囲・到達目標> 集合の概念や性質を理解し、理論的な思考力を伸ばし、命題の考察に活かすようにする。 具体的な事象の考察を通して、順列・組合せや確率を理解し、不確定な事象を数量的に捉えることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようにする。
	7	3節 独立な試行と確率、期待値 (1)独立な試行の確率 (2)反復試行の確率 (3)複雑な事象の確率 (4)期待値	予習・復習は必要不可欠です。1時間の授業に1時間ずつの予・復習を習慣化を図りましょう。
	8	3章 2次関数【数学】 1節 関数とグラフ (1)関数 (2)2次関数とそのグラフ (3)2次関数の決定 (4)2次関数の最大・最小 発展;グラフの平行移動	中間試験10月6日(火)~8日(木) <範囲・到達目標> 二次関数を理解し、具体的な事象の考察や二次不等式を解くことに活用できるようにする。
	9	2節 2次関数のグラフと2次不等式 (1)2次関数のグラフと 軸の共有点 (2)2次不等式 (3)2次不等式の応用 発展;絶対値を含む関数のグラフ	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。
	10	3章 平面図形【数学A】 1節 三角形と比 (1)三角形と比 (2)三角形の重心・外心・内心 (3)三角形の比の定理 2節 円周角 (1)円周角の定理 (2)円に内接する四角形 3節 円と直線 (1)円と直線 (2)接線と弦の作る角 (3)方べきの定理 (4)2つの円	板書をしっかりと、授業ごとにノート整理をする。頭で解ったつもりは駄目です。条件を満たすグラフを描くことが、理解の近道です。
学 期	11	4章 図形と計量【数学】 1節 鋭角の三角比 (1)直角三角形と正接 (2)正弦・余弦 (3)三角比の相互関係 2節 三角比の拡張 (1)三角比と座標 (2)三角比の性質 3節 三角形への応用 (1)正弦定理 (2)余弦定理 (3)三角形の面積	期末試験12月7日(月)~9日(水) <範囲・到達目標> 三角比の意味・鈍角化の意義を理解し、角を基にした計量の考え方を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにする。
	12	4節 図形と計量 (1)空間図形の計量 (2)相似と計量 (3)球の体積と表面積 発展;球の体積	高校へ入学して、はじめて習う分野です。数学・数学B・数学Cへと発展していく分野です。数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	数学 ・Aの総まとめ 数学 : 数と式、方程式・不等式、2次関数、 図形と計量	学年末試験: 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> 答えを求める過程を説明する力が 求められます。関数のグラフを用いて 方程式や不等式を解く力、図形を数 量的に捉える力、事象を数学的に捉 え、処理する力というように、個々の知 識を統合して問題が解けるようになっ たかを確認します。 数学 と数学Aの総合問題として出 題します。 学校指定の問題集は最低限取り組 み、そのほかに、推薦図書も並行して 学習することが大切です。
	2	数学A: 集合と理論、場合の数、平面図形 三角関数 【数学】 1節 一般角の三角関数 (1)一般角 (2)一般角の三角関数 (3)三角関数の間の関係 (4)弧度法 (5)いろいろな角の三角関数 (6)三角関数のグラフ (7)三 角方程式と三角不等式	
	3	2節 三角関数の加法定理 (1)三角関数の加法定理 (2)2倍角・半角の公式 (3)三角関数の合成 問題・練習問題	

学習上のアドバイス

【中学の復習】

中学三年間の総復習

- ・数と式: 正負の数・文字式で基礎が築き上げられているか。四則計算が十分理解できているか要求されます。
- ・関 数: 1次方程式、1次関数、2次方程式、2次関数では中学で養った力をもとにさらなる発展が要求されます。
- ・図 形: 平面図形、空間図形の内容把握にはじまり、作図、移動、切断、組み立て等多方面にわたって中学で学んだものをより学問的に理解を深めていきます。

【高校の数学】

授業の時間が増えるだけでなく、内容がかなり深く高度になります。方程式、不等式、関数等においては図形の内容を再認識した上で角度、合同、相似形等の証明と学習を進展させていきます。とくに、1次関数や2次関数と図形の証明問題は密接な関係があります。直線や放物線の式とグラフの関係、論証等に重点を置き、具体論から一般論へスムーズに移行できることが大切です。

とくに、中3で学習した内容は中1、中2の内容に比べるといさなり難易度があがっています。中学の数学がわからなくなるはこの時期であったといっても過言ではありません。数量編の高校数学の基礎になる分野(乗法公式、因数分解、平方根、2次関数等)、図形編の合否の決め手になりやすい円、三平方の定理、空間図形を克服しなければなりません。

そこで、授業や補習等で中学の復習をし、高校への数学の橋渡しをしていきます。

評価の観点および方法

・観点は次の5項目を総合して評価します。

- 数学に対する「関心・意欲」
- 授業に対する「意欲・態度」
- 学習内容の「理解度・定着度」
- 学習活動「ノート・課題提出・単元テスト」
- 定期考査

課題: オリジナル評価問題集のプリント、授業中に配付する演習プリントの達成状況

推薦参考書・問題集等

高校数学の基本から応用まで網羅している適切な副教材を使用していますので、その問題を解き、理解するのが第一です。又、個人的に参考書を選ぶときには、最後まできれいなものを選びましょう。『毎日の継続こそが真の実力につながる』です。

- ・チャート式 基礎からの数学 +A (数研出版)・・・通称「青チャート」
- ・チャート式 数学 +A (数研出版)……………通称「赤チャート」
- ・ニューアクション 数学 ・A(東京書籍)

履修学年	1	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	6
教科	数学			科目	数学・数学A		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍) 高等学校数学A(東京書籍) ニュージャスト数学 + A(東京書籍)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	1章 数と式 【数学】 1節 式の計算 2節 実数 問題・練習問題 2章 方程式と不等式 【数学】 1節 1次不等式 発展;絶対値記号を含む不等式 2節 2次方程式 問題・練習問題 3章 2次関数 【数学】	中間試験5月26日(火)~28日(木) <範囲・到達目標> 中学校の数学を復習する。整式の加・減・乗法を練習し、計算力を身につける。乗法公式で早く正確に展開する。 不等式を理解し、解の意味を考える。一次不等式の解法を学習し、効率的に解けるようにする。 2次方程式の解の公式を導く。判別式と2次方程式の実数解の個数について、2次方程式の文章題を研究する。解の範囲を確認する。
	5	1節 関数とグラフ 発展;グラフの平行移動 2節 2次関数のグラフと2次不等式 発展;絶対値を含む関数のグラフ 問題・練習問題 【数学 中間試験】	期末試験7月1日(水)~3日(金) <範囲・到達目標> 集合の意味と表し方を学び、要素と集合の関係や集合同士の間になり立つ関係や、「命題の成立」の意味を学習し、次に、「p、q」の真義を示す。必要十分、必要十分、否定やド・モルガンを考える。 和・積の法則、順列、組合せを理解する。様々な場面に応用できるようにする。二項定理、順列の公式を考える。試行や事象の意味を理解し、事象を集合で表すことより、確率を理解する。和・積事象と集合を関連させ、複雑な事象を整理し、基本性質で求められるようにする。
	6	1章 集合と場合の数 【数学A】 1節 集合と要素の個数 2節 場合の数 問題・練習問題	
	7	2章 確率 1節 確率とその基本性質 発展;方程式の自然数解の数 【数学A 期末試験】	
	8	3章 2次関数 【数学】	
	9	1節 関数とグラフ	
	10	2節 2次関数のグラフと2次不等式 問題・練習問題 【数学 中間試験】	中間試験10月6日(火)~8日(木) <範囲・到達目標> 中学の2次関数を復習し、 $y = a^2x^2 + b^2x + c$ を導き、その性質や2次関数の最大・最小について考察し、特徴を理解し、グラフとx軸の共有点の座標を求めることを通して、2次方程式の解の図形的意味と、判別式の符号で共有点を分類する。2次不等式の解をグラフで考察し、求める。絶対値を含む関数をグラフ化する。
2 学 期	11	3章 平面図形 【数学A】 1節 三角形と比 2節 円周角 3節 円と直線 問題・練習問題 【数学A 期末試験】	期末試験12月7日(月)~3日(水) <範囲・到達目標> 中学の、三角形と比を復習し、重心・外心・内心、チェバ、メネラウスの定理を理解し、円の基本性質と円周角の定理の復習をする。内接四角形の定理と内接条件の定理を活用できるようにする。接弦定理を理解する。方べきの定理を理解する。2円の位置関係を理解する。
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	2章 確率 【数学A】 2節 独立な試行と確率、期待値 問題・練習問題 【数学A 期末試験】	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1,2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> 試行や事象の意味を理解し、事象を集合で表し、明確に確率を理解する。複雑な事象を、基本性質で求める。確率の積で、2試行がともに起こる確率を求める。反復試行の確率を求める際、組合せが関係することを理解する。条件付確率と確率の乗法定理、期待値を求める。 正接・正弦・余弦、 $30^\circ, 45^\circ, 60^\circ$ の三角比の値、余角($90^\circ - \quad$)の三角比と、相互関係の関係式の使い方を理解する。 $0^\circ, 90^\circ, 180^\circ, 120^\circ, 135^\circ, 150^\circ$ の三角比を使い、三角形の面積、平面・空間図形における線分の長さ、角の大きさ、面積、体積の計算に三角比を利用する、
	2	4章 図形と計量 【数学 Ⅰ】 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の拡張 3節 三角形への応用 4節 図形と計量	
	3	発展:球の体積 問題・練習問題 【数学 Ⅰ 期末試験】	

学習上のアドバイス

- ・中学の内容を復習し、教科書を中心に学習します、教科書準拠の問題集で解答練習を行います。
- ・問題を多く解く練習が必要です。多くの演習で、計算力と論理性を身につけて下さい。
- ・予習・復習は必要不可欠ですが、時間不足のときには復習中心の姿勢を心がけて下さい。
- ・重要点は何かを確認しながら板書をしっかりと、授業ごとにノート整理をして下さい。

評価の観点および方法

- ・観点は、 関心・意欲・態度、 考え方、 表現・処理、 知識・理解の4項目です。
- ・単元や各時限などの学習課程で、評価の観点の4項目について、生徒の良い点や進歩の状況などを評価し、その累積と定期考査等の状況及び出席状況より各学期ごとに評価します。

推薦参考書・問題集等

履修学年	1	履修コース	特選	履修条件	必修	単位数	3
教科	理科			科目	生物		
教科書 副教材	高等学校 生物 (出版社:第一学習社) 問題集 生物 標準ノート(第一学習社) スクエア最新図説生物(出版社:第一学習社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学	4	第1章 細胞 生命の単位－細胞 1 - 1細胞の研究 1 - 2細胞と個体 細胞の機能と構造 2 - 1核の働きと構造 核の働き、核の構造 2 - 2細胞の働きと細胞小器官	中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> いずれの生物もすべて細胞からできていて、その生命は一つ一つの細胞の働きによって支えられていることを理解する。 <学習ポイント> 細胞小器官を理解する。 細胞膜の性質(半透性と能動輸送)を理解する。 体細胞分裂時期と特徴を理解する。
	5	2 - 3細胞の働きと酵素 3 - 1細胞膜とその性質 3 - 2受動輸送と能動輸 4 - 1体細胞分裂	
	6	4 - 2細胞の分化と組織の形成 第2章 生殖と発生 生殖 1 - 1生殖の方法 1 - 2減数分裂と生殖細胞の形成 有性生殖の過程 2 - 1動物の配偶子形成と受精 2 - 2被子植物の生殖と発生 7 発生とそのしくみ 3 - 1卵割と胚の発生	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 生物は寿命があり、子孫を残すことにより、次の世代に生命を伝えていることを理解する。 生物は一個の受精卵から成体になるまでにそれぞれ独特の形態変化があることを理解する。 <学習ポイント> 有性生殖と無性生殖の違いを知る。 配偶子形成の仕組みを理解する、 ウニとカエルの発生の仕組みと違いを理解する。
2 学 期	8		中間試験 10月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標> 過去の発生学者の実験の内容と功績を理解する。
	9	3 - 2胚葉の分化と器官の形成 3 - 3発生のしくみ 遺伝と染色体 2 - 1遺伝子の連鎖と組換え 2 - 2性染色体と遺伝子 遺伝子の本体 3 - 1遺伝子の本体の究明	<学習ポイント> フォークとシュペーマンの2人の実験の結果と結論を理解する。 形成体と誘導の連鎖の仕組みを理解する。特に中胚葉誘導について理解する
	11	3 - 2遺伝子の本体－DNA 第4章 環境と動物の反応 刺激の受容と動物の反応 1 - 1刺激の受容と感覚 1 - 2いろいろな受容器 1 - 3効果器と反応 神経系 2 - 1ニューロン 2 - 2興奮とその伝わり方 12 2 - 3神経系とその働き	期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 動物はおもにどのような仕組みで外界からの刺激を受容し、反応しているのかを、理解する。 <学習ポイント> 視覚器と聴覚器を理解する。 効果器の種類と働きを理解する。 有髄神経と無髄神経の働きの違いを理解する。 5つの脳の名称と働きを理解する。 脊髄の作りと働きについても理解する

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1		学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> 行動の特徴を理解し分類ができるようになる。 ヒトの体内はどのような仕組みで、恒常性を維持しているのかを理解する。 <学習ポイント> 走性・反射・本能・条件反射・学習・刷り込み・知能行動の特徴を理解する。 ホルモンの名称・働きを理解する。 2種類の自律神経の特徴と働きを理解する。 血糖量や体温の調節の仕組みを理解する。
	2	動物の行動 3 - 1生まれつき備わっている行動 本能行動 3 - 2経験によって得られる行動 刷り込みによる行動の発現 体液とその恒常性 4 - 1内部環境としての体液 体液とその働き 4 - 2自律神経系やホルモンの働き 自律神経による調節、ホルモンによる調節 4 - 3恒常性を保つ働き 浸透圧の調節、血糖量の調節、体温の調節	
	3	肝臓の働き	

学習上のアドバイス

教科書の内容は、生徒には難しい内容なので、なるべくその日の内に授業の内容を復習することが大切である。また、学習内容が理解できたかどうかは、問題集などを使って確認することが重要である。

評価の観点および方法

- ・定期試験(中間・期末・実力試験)
- ・課題等の提出状況
- ・授業態度

推薦参考書・問題集等

生物 【要点】必出ポイント110の攻略で合格を決める(文英堂)
 チャート式シリーズ 新生物 (数研出版)

履修学年	1年	履修コース	全クラス	履修条件	必修	単位数	2
教科	理科			科目	理科総合B		
教科書 副教材	高等学校 改訂理科総合B (出版社:第一学習社) ネオパルノート 理科総合B(出版社:第一学習社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	序説 自然の探求 1 自然の見方 2 自然の探求の進め方	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> ・p6～p86 ・現在の地球について理解する。 ・絶妙のバランスの上で生命が誕生したことを理解する。 <学習ポイント> ・我々が生活している地球の構造やしきみを理解する。 ・現在の地球を知るために、時間的・空間的な広がりを考え理解を深める。 ・地形の変化に多大な影響を及ぼす火山活動や水の働きを理解する。 ・地球の自転や公転と、大気や海水の動きを関連づけて理解する。 ・年間を通してのダイナミックな大気や海水の動きを確認し、四季の変化を理解する。 ・地球だけでなく、それを包み込む太陽系全体の歴史と構造や特徴を確認し、地球に対する理解を深める。 ・生命の大切さ・尊さを考える。 ・生命が誕生するまでの長い時間を理解する。
	5	第 章 地球の姿と移り変わり 第1節 地球の変動と多様な景観 1 変動する地球 2 多様な景観	
	6	第2節 大気と水の循環 1 大気と水の働き 2 日本の大気	
2 学 期	7	第3節 生命の星 地球 1 惑星としての地球 2 地球の誕生	
	8	第 章 生命の移り変わりと自然のつりあい 第1節 生命の移り変わり 1 生命の誕生とその発展	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> ・p88～p135 ・進化の仕組みを理解する。 ・遺伝の法則性を理解する。 <学習ポイント> ・進化の重大さ、影響力を理解し、現在生存する生物だけではなく、多様な生物が存在していたことを覚える。 ・紫外線が生物へ与える影響を考え、生物の繁栄と滅亡を理解する。 ・染色体と遺伝子の関係を理解する。 ・有性生殖のメリットとデメリットを生物の進化と関連づけて理解する。 ・遺伝現象の基本となる優性・分離・独立の3法則を理解し、雑種2代目や3代目を表現型や遺伝子型で表せたり、分離比が計算できるようにする。 ・遺伝子の本体が何であるかの究明を、肺炎双球菌の実験から導き出す手順を理解する。
	9	2 生物の変遷と地球環境の変化 第2節 遺伝の規則性 1 親から子へ	
	10	2 遺伝の法則 3 遺伝子の本体	
	11	第3節 生物と環境 1 生物の多様性	
12	2 生物と環境のかかわり		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	第 章 人間の活動と地球環境の変化 第2節 その他の課題例 1 オゾン層の破壊 2 地球温暖化	学年末試験 1・2年: 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> ・p136～p202 ・現在地球に生存する生物の分類を考え、進化の道筋を確認する。 ・人類が地球を守る方法を考える。 <学習ポイント> ・多様な生物の分類法を覚え、それぞれの生物の進化を合わせて理解する。 ・生物が環境に与える影響、生物同士の関わり方などを理解する。 ・生物を取り巻く環境にどのようにヒトが関わっているか、また、私たちは何をすべきなのかを考える。
	2	3 大気汚染 4 野生生物の保護 5 化学物質による水質汚染	
	3	6 地震とその対策 7 火山噴火とその対策	

学習上のアドバイス

教科書の内容は、基本的な内容であるが、しっかりと学習するためにはその日の内に授業の内容を復習することが大切である。また、学習内容が理解できたかどうかは、問題集などを使って確認することが重要である。1時間の授業で、ほぼネオパルノート見開き2ページ分の進捗となっているので、家庭学習で必ず復習してほしい。

評価の観点および方法

- ・定期試験(期末・実力試験)
試験の点数×0.8 (毎学期各80点分に)
- ・課題等の提出状況(ワーク、課題プリント、ビデオ鑑賞レポート)
ワーク3～5ポイント 土日課題プリント・鑑賞レポート1～2ポイント (毎学期各20点分に)
- ・授業態度
おしゃべりなど授業妨害やいねむりなどは減点

推薦参考書・問題集等

授業で使用する参考書等
 問題集 ネオパルノート 理科総合B(第一学習社)
 図解 総合図説生物(第一学習社)

履修学年	1年	履修コース	特・選・類	履修条件	必修	単位数	2単位
教科	地理歴史			科目	日本史A		
教科書 副教材	教科書 『改訂版現代の日本史A』(山川出版社) 副教材 『最新日本史図表』(第一学習社)、『詳説日本史10分間テスト』(山川出版社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	序章 近代以前の日本 1 近代国家のできるまで 2 近世の国家と社会 3 対外関係の変化	期末試験 <範囲> 開国と維新、近代国家の形成と発展 <学習ポイント> 基本用語の正確な理解をはかり、知識の定着に努める。その際、10分間テスト等を有効に活用する。
	5	第1章 開国と維新 1 東アジア国際環境の変化と開国 2 政治秩序の崩壊 3 明治維新と革新政策 4 対外関係の変革と内乱の終結	
	6	第2章 近代国家の形成と発展 1 立憲政治をめざして 2 憲法の制定と議会の開設 3 東アジアの国際環境と条約改正問題 4 清国との戦い	
	7	5 藩閥・政党の対立と協力 6 ロシアとの戦い 7 日露戦後の国際関係と日本	
	8	第3章 産業化の推進と国民生活の変化 1 産業革命の進展 2 資本主義の確立とその特色 3 社会問題の発生 4 国民文化の形成 5 国民生活の変化	
	9	第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー 1 第一次世界大戦と日本の外交 2 デモクラシーの高まりと政党 3 国際協調と軍縮の進展 4 政党政治の時代 5 大戦中から戦後の経済と社会 6 都市化と大衆文化	
	10	第5章 第二次世界大戦と日本 1 世界恐慌 2 協調外交の行きづまり 3 満州事変から国際的孤立へ 4 軍部の政治的台頭 5 中国との戦い	
2 学 期	11	6 第二次世界大戦と世界新秩序 7 太平洋戦争 8 日本の敗北	期末試験 <範囲> 産業化の推進と国民生活の変化、第一次世界大戦と大正デモクラシー、第二次世界大戦と日本 <学習ポイント> 基本用語の正確な理解をはかり、知識の定着に努める。その際、10分間テスト等を有効に活用する。
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	第6章 占領下の日本 1 占領政策の展開 2 戦後民主主義の定着 3 政治経済の再建 4 独立の回復	学年末試験 <範囲> 占領下の日本、日本の自立と経済成長、現代の世界と日本 <学習ポイント> 基本用語の正確な理解をはかり、知識の定着に努める。その際、10分間テスト等を有効に活用する。
	2	第7章 日本の自立と経済成長 1 55体制の成立 2 安保体制下の日本 3 高度経済成長の光と影 4 経済大国	
	3	第8章 現代の世界と日本 1 冷戦の終わり 2 国内政治の再編成 3 アジア・太平洋と日本 4 21世紀を迎えて	

学習上のアドバイス

(1) 疑問を持って授業に取り組むことが大切である。しかし、疑問点は、基本事項を「丸暗記」するだけでは解決できない。時代背景や経緯・結果・影響などの知識を整理し、ひとつの歴史的な事象を系統的・総合的に把握することが必要である。

(2) 歴史の学習は、時間的な視点と空間的な視点の両面からとらえることが大切である。そのためには、教科書以外に地図・図表・写真などの資料を活用することを勧めたい。

評価の観点および方法

(1) 定期試験(期末試験)、小テストの到達度(ワーク「10分間テスト」より)

(2) 宿題等、提出物の達成度

(3) 授業遅刻・早退・欠課等の勤怠状況

(4) 日本の歴史に対する興味・関心や授業に対する取り組み
以上4項目について総合的に判断し、評価する。

推薦参考書・問題集等

参考書 『ナビゲーター日本史B』(山川出版社)
『石川日本史B講義の実況中継』(語学春秋社)
『詳説日本史研究』(山川出版社)

用語集 『日本史B用語集』(山川出版社)

問題集 『詳説日本史10分間テスト』(山川出版社)
『センター試験傾向と対策』(旺文社)
『センター試験実践問題集』(駿台文庫)

履修学年	第1学年	履修コース	特・選・	履修条件	必修	単位数	2
教科	地歴科			科目	世界史A		
教科書 副教材	『世界史A 現代の世界史』山川出版社 『最新世界史図説タペストリー七訂版』帝国書院 『詳説世界史 10分間テスト改訂版』山川出版						

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
1 学期	4	第 部 現代世界と日本 第1章 20世紀の特質 1 社会生活の変化	<学習のポイント>以下の事項について理解する。 ・科学技術の応用 都市化と新中間層 ・普通選挙制の普及 公教育と国民国家 ソ連邦の存在 ・ヨーロッパの火薬庫 第一次大戦 ロシア革命 ・パリ講和会議 ヴェルサイユ体制下の底流
	5	2 民主化と国民国家	
	6	第2章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命	期末試験 7月1日（水）～3日（金） 教科書範囲 第1章 20世紀の特質から 第2章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命まで
	7	2 ヴェルサイユ体制と欧米諸国	10分間テストの範囲 ・No.68～70 タペストリーの範囲 P. 220～224
2 学期	8	3 民族主義の新展開	<学習のポイント>以下の事項について理解する ・日本、韓国の三・一運動、中国の五・四運動 ・第一次国共合作とその破綻 ・インド、東南アジアの独立運動 ・世界恐慌 ナチス＝ドイツ ・ヴェルサイユ、ワシントン体制の崩壊 ・ソ連の動向 スペインの内戦 日中戦争 ・太平洋戦争
	9		
	10	4 ファシズムの台頭	期末試験 12月7日（水）～9日（金） 第2章 二つの世界大戦 2 ヴェルサイユ体制と欧米諸国から 5 第二次世界大戦まで 10分間テストの範囲 ・No.71～75 タペストリーの範囲 P. 225～245
	11	5 第二次世界大戦	
12	第3章 東西2陣営の対立 1 冷戦から共存へ		

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
3 学 期	1	2 アジア・アフリカ諸民族の解放と独立	<学習のポイント>以下の事項について理解する ・冷戦の開始 冷戦の世界化 平和共存 ・中華人民共和国の成立と朝鮮の分裂 ・東南アジアの ・諸民族の独立 ・戦後のアメリカ キューバ革命とその影響 ・ソ連 東欧 中ソ対立と文化大革命 日本の復興 ・国際関係の再編成 学年末試験 3月3日（水）～5日（金） 教科書範囲 第3章 東西2陣営の対立 1 冷戦から共存へから 第4章 20世紀から21世紀へまで 10分間テストの範囲 ・No.76～79 タペストリーの範囲 P. 246～277
	2	3 東西両陣営の内部変化	
	3	第4章 20世紀から21世紀へ 1 国際関係の再編成 2 諸地域の動向	

学習上のアドバイス	
<p>(1) 歴史は理解すると楽しくなる。基本的で重要な用語を習得し、知識をつなげて「歴史の流れ」や「時代の枠組み」を理解すること。単元内の出来事の因果関係・流れを押さえ、既習の時代をすべてつなぐつもりで振り返り、変化や歴史的な意義を大局的に把握する。教科書、資料集、参考書、用語集を精読する。</p> <p>『詳説世界史10分間テスト』を活用し重要語句・年代の正確な把握と定着をはかる（模範解答とともに問題文をおさえる）サブノートで基本事項を確認し、出来事の因果関係・流れを整理する。</p> <p>実践問題集は問題文と設問、解説を精読し「歴史の流れ」や「時代の枠組み」「歴史的な意義」を多面的に把握する。</p>	
<p>(2) 歴史の理解には時間的視野と並んで空間的視野が不可欠である。教科書をタペストリー掲載の歴史地図を参照し、地理的条件との関連に注意すること。特に東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカ・中央アジアなどの周辺地域は、地図で位置を確認し、中国や欧米の動きと関連付けておさえる。</p>	
評価の観点および方法	
<p>(1) 小テスト、定期試験（中間試験・期末試験）の到達度</p> <p>(2) 宿題等、提出物の達成度</p> <p>(3) 授業遅刻、早退、欠課等の勤怠状況</p> <p>(4) 授業態度</p> <p>以上の4項目について総合的に判断し、評価する。</p>	
推薦参考書・問題集等	
<p>(1) 用語集 『世界史B用語集』（山川出版社） 『必修世界史用語 A・B対応』（実教出版）</p> <p>(2) 参考書 『ナビゲーター世界史B』1～4（山川出版社） 『青木 NEW 世界史B講義の実況中継』1～4（語学春秋社） 『東進ブックス 荒巻の世界氏の見取り図』既刊4冊（ナガセ） 『詳説 世界史研究 改訂版』（山川出版社）</p> <p>(3) サブノート 『流れ図で攻略 詳説世界史B 改訂版』（山川出版社）</p> <p>(4) 実践問題集 『青木 世界史B講義の実況中継 問題演習』1・2（語学春秋社）</p>	

履修学年	1	履修コース	全	履修条件	必修	単位数	1
教科	情報			科目	情報A		
教科書 副教材	情報A(一橋出版)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	情報Aを学ぼう 1. 情報を活用してみよう 2. 情報の収集・発信 3. 情報の統合的な処理 4. 著作権とは	<学習ポイント> ・中学校で学んだコンピュータやインターネットの利用法をもう一度確かめながら, 問題解決についての考え方と, 情報を適切に表現し伝達することの大切さを学習する。中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> レポート提出 <学習ポイント> ビデオ等を見て, ネットワーク社会の問題点をレポートにまとめます。 期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 第1章 第2章1.まで コンピュータのしくみがかかる
	5	5. ネットワーク社会の問題点 6. 情報機器の発展 7. 情報化の発達と生活の変化	
	6	第1章 情報化 進む 道具 1. 情報化の発展と私たちの生活 2. 主な情報機器 1. コンピュータの装置 第2章 文書 情報 つくる あわせる 1. 文字の操作	
2 学 期	7	2. 文字のレイアウト 3. 表と図形の作成 4. 絵の張り付け 5. 手紙の作成	中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標> <学習ポイント> ビデオ等を見て, 情報の収集・作成・編集・加工における問題点をレポートにまとめます。 期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 第3章 表計算ソフトが使える。 関数が理解できる。
	8	第3章 表計算 情報 つくる あわせる 1. 表の作成・編集・加工	
	9	2. シミュレーション	
	10	3. 各種関数の利用	
	11	2. セルの絶対参照	
3 学 期	12	5. 表を文章で利用。 第4章 図形 画像 情報 つくる あわせる	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> 1年間のまとめ(この1年間の内容が理解できているか) 簡単なグラフが作成できる。 データベースのしくみが理解できる。
	1	1. データの統合とグラフ 2. グラフの作成 3. グラフを文書で利用	
	2	4. 画像を文書で利用 5. データの並べ替え	
	3	データベース	

学習上のアドバイス

- ・情報技術によりわたしたちの暮らしが豊かになることを理解する。
- ・インターネットをはじめとした情報通信ネットワークは、国境を越えた世界規模でのコミュニケーションを身近にしている。
- ・高齢者、子どもや障がい者も積極的に情報が活用できるよう、さまざまなハンディキャップに対応する情報機器が開発されています。また、防災や災害救援支援のための通信網が体制されていることも調べて欲しい。
- ・情報機器の使い方を学び、情報をより高度に活用する技術を身につける。
- ・グループ活動を通して情報をつくり上げながら、目的を達成するために情報を集め、人に伝え、発表する一連の行動ができる。
- ・文字・数値・音声・画像などの多様なデジタル情報を統合的に扱う。
- ・個人またはグループで、作品の制作計画の立案から、ソフトウェアを活用した制作、評価、改善までの制作過程を実際に行う。
- ・情報社会の中で生きるわたしたちのあり方について、討論などを通して考察する。

評価の観点および方法

- 1, 2の状況を踏まえ、総合的に評価します。
1. 定期考査の成績・・・50%
 2. 実習点(レポート・プレゼンテーション)・・・30%
 3. 学習態度等の平常点・・・20%

推薦参考書・問題集等

- ・学習ノート(第一学習社)

履修学年	1年男子	履修コース	全コース	履修条件	必修	単位数	2
教科	保健体育			科目	体育		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)	
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 授業内容の説明と諸注意 	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 集団行動 姿勢、礼、整列隊形、列の増減、方向転換 新体力テスト 新体力テストの測定 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、50M走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの8種類 		<学習ポイント>
	6	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技 ハードル走 ハードリング、アプローチ、インターバル走練習 記録測定 	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標>	
	7	<ul style="list-style-type: none"> 水泳(6月第2週～9月第1週) クロール スタート方法、キック、ストローク、コンビネーション 呼吸方法、記録測定 		<学習ポイント>
	8			
	2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール パス・サーブ・サーブレシーブ・トス・スパイク ゲーム・スキルテスト 	中間試験10月8日(水)～10日(金) <範囲・到達目標>
		10		
11		<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技(長距離走) 校内マラソン大会に向けての練習を兼ねてロードコースでのタイムトライアル 	期末試験12月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標>	
12		<ul style="list-style-type: none"> バスケットボール パス・ドリブル・シュート ゲーム・スキルテスト 		<学習ポイント>

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	サッカー ボールタッチ、リフティング、ドリブル、キック、パス、 ヘディング、シュート、守備、ルールと審判法、ゲーム	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> <学習ポイント>
	2		
	3		

学習上のアドバイス

- ・集団的スポーツでは、チームにおける自己の役割を自覚して、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにしましょう。
- ・個人的スポーツでは、自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができるようにしましょう。
- ・練習場などの安全を確かめ、健康、安全に留意して練習やゲームができるようにしましょう。
- ・次の留意事項をしっかり守って、積極的な姿勢で授業に参加しましょう。
- * 移動... 集合時間や授業終了後、次時へ影響が出ないように、時間厳守の行動を心掛けましょう。
- * 服装... 学校指定の体育着、指示されたシューズを正しく着用しましょう。
- * 見学... 病気やけが等で授業を見学する場合は、授業が始まる前に担当者へ届を提出し、許可を得ておきましょう。

評価の観点および方法

- ・評価については、授業態度(関心・意欲・態度)及び欠課、見学回数が大きく影響します。更に、単元毎に実施するタイムトライアルやスキルテスト、ゲーム中における貢献度なども加えて総合的に判断し決定します。

推薦参考書・問題集等

履修学年	1年女子	履修コース	全コース	履修条件	必修	単位数	1
教科	保健体育			科目	体育		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	オリエンテーション 授業内容の説明と諸注意	<範囲・到達目標>
	5	集団行動 姿勢・礼・整列隊形・列の増減・方向転換 スポーツテスト 新体力テストの測定	<学習ポイント>
	6	バレーボール パス・サーブ・簡易ゲーム	<範囲・到達目標>
	7		<学習ポイント>
	8	ソフトボール キャッチボール・ティーバッティング・ゲーム	<範囲・到達目標>
	9		<学習ポイント>
	10	陸上(長距離走) 校内マラソン大会に向けてタイムトライアル	<範囲・到達目標>
2 学 期	11		<学習ポイント>
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	バドミントン ラリー・サービス・ゲーム	<範囲・到達目標> <学習ポイント>
	2		
	3		

学習上のアドバイス

- ・集団的スポーツでは、チームにおける自己の役割を自覚して、互いに協力して練習やゲームが進められるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにしましょう。
- ・個人的スポーツでは、自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技をしたり、記録を向上させることができるようにしましょう。
- ・健康・安全に留意して、積極的な姿勢で授業に参加しましょう。
- ・学校指定の体育着や、指示されたシューズを正しく着用しましょう。

評価の観点および方法

授業態度(関心・意欲・態度)および欠課・見学の回数が、評価に大きく影響します。さらに、単元毎に実施するスキルテストやタイムトライアル、ゲーム中における貢献度などを総合的に判断し、教科会を経て決定します。

推薦参考書・問題集等

履修学年	1年女子	履修コース	全コース	履修条件	必修	単位数	1
教科	保健体育			科目	体育(ダンス)		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	・オリエンテーション 授業内容の説明と諸注意	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標>
	5	・基本姿勢 基本運動(歩く、走る、跳ぶ、ステップ) ・からだほぐしの運動 ・現代的なリズムのダンス	<学習ポイント> ・基本運動の特徴を正確にとらえ、より美しく、つながる動きへ展開できるようにする。
	6	・基本運動の連続 動きを組み合わせ、リズムに合わせて踊る。	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 基本運動の連続 <学習ポイント> ・これまで学んだ基本運動を連続して行い、美しく豊かに動けるからだづくりと動きのスムーズな変化を身につける。
2 学 期	8		中間試験10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標> ・「現代的なリズムのダンス」のグループ創作
	9	・「現代的なリズムのダンス」グループ創作	<学習ポイント> ・創作活動を通して、互いのよさを認め合い、練習したり、発表することにより、ダンスの楽しさや、喜びを味わう。
	10	・作品作りを発表、鑑賞、評価	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標>
	11	・長距離走	<学習ポイント> ・フォークダンスの由来を知り、集団や個人で表現したり交流する楽しさを味わう。
	12	・フォークダンス	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	・リズムを工夫する ・即興表現	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> ・「創作ダンス」グループ創作 <学習ポイント> ・創作した作品を発表、鑑賞し合い、評価する。
	2	・空間構成 ・創作ダンス作品を作る	
	3	・作品作りを発表、鑑賞、評価 ・創作ダンス作品のビデオ鑑賞	

学習上のアドバイス

・みんなの前で踊ったり、手をつないだりすることに抵抗があるかもしれませんが、伸び伸びと大きく踊れるようにしましょう。
 ・グループ活動では、協力し、自主的に動けるようにしましょう。

移動・・・集合時間や授業終了後、次時へ影響が出ないように、時間厳守の行動を心掛けましょう。

服装・・・学校指定の体育着を正しく着用しましょう。

見学・・・病気やけが等で授業を見学する場合は、授業が始まる前に担当者へ届を提出し、許可を得ておきましょう。

評価の観点および方法

授業への参加態度や意欲、実技テスト等の総合評価をし、体育の評価に組み入れます。

・一人一人が感じたことを自由に表現できているか。
 ・互いの良さを認め合い、協力して練習や、課題学習に臨んでいるか。
 ・計画的な練習の仕方や、発表の仕方を工夫することができているか。

推薦参考書・問題集等

履修学年	1年生	履修コース	全コース	履修条件	必修	単位数	1
教科	保健体育			科目	保健		
教科書 副教材	現代保健体育(大修館) 現代保健ノート						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	1 単元 現代社会と健康	<p>期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 1単元1項から6項ぐらいまでが 試験範囲となります。</p> <p><学習ポイント> 現代の健康問題や、新しい時代の 健康のあり方について、説明 できるようにしよう。</p>
		1 私たちの健康のすがた	
	5	2 健康のとらえ方	
		3 さまざまな保健活動や対策	
	6	4 生活習慣病と日常の生活行動	
		5 喫煙と健康	
	7	6 飲酒と健康	
2 学 期	8	7 薬物乱用と健康	<p>期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 1単元7項から16項ぐらいまでが 試験範囲となります。</p> <p><学習ポイント> 健康的な生活習慣を身につける ために必要なこと、心と体のかか わりについて、説明できるように しよう。</p>
		8 医薬品と健康	
	9	9 感染症とその予防	
		10 エイズとその予防	
	10	11 健康にかかわる意思決定・行動選択	
		12 意思決定・行動選択に必要なもの	
	11	13 欲求と適応規制	
		14 心身の相関とストレス	
	12	15 ストレスへの対処	
		16 自己実現	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	17 交通事故の現状と要因	学年末試験3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> 1単元17項から22項ぐらいまでが 試験範囲となります。 <学習ポイント> 健康に好ましい環境をつくるため に必要なことを、説明できるように しよう。
		18 交通社会における運転者の資質と責任	
	2	19 安全な交通社会づくり	
		20 応急手当の意義とその基本	
	3	21 心肺蘇生法	
		22 日常的な応急手当	

学習上のアドバイス
<p>授業の「説明を聞いたり」「板書をノートに書きとめる」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康を保持増進するための課題を見つけることが大切です。授業の中で使われる保健ノートやプリント等の問題は、必ず行い理解を深めるようにしましょう。</p>
評価の観点および方法
<p>「意欲・関心・態度」、「思考・判断」、「知識・理解」の3つの観点から評価します。定期試験の成績や提出物の内容、学習活動への参加意欲や態度等を総合的に判断し、評価します。</p>
推薦参考書・問題集等
<p>特にはありませんが、日頃から新聞やニュースに気を配り、保健や健康に関することに関心を持ち、自分や家族の健康を保持増進するために必要な最新情報を、入手するようにしましょう。</p>

履修学年	1年	履修コース	全コース	履修条件	必履修	単位数	2
教科	家庭			科目	家庭基礎		
教科書 副教材	新家庭基礎 未来へつなくパートナーシップ (教科書) ニューライブラリー家庭科資料+成分表 (副教材)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学期	4	オリエンテーション 家庭科を学ぶにあたって 第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族 1 自分を見つめる 2 パートナーと出会う 3 家族って何だろう	中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> <学習のポイント>
	5	4 家族と法律 5 家族を支える仕事と生活時間 第2章 子どもとかかわる 1 子どもを知る 2 発達のすばらしさ 3 子どもの生活	
	6	4 親になることを考えよう 5 すこやかに育つ環境 第3章 高齢者とかかわる 1 高齢社会に生きる私たちの暮らし 2 歳を重ねるとのこと 3 豊かな高齢期を迎えるしくみ	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> p8～p70 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、 家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解 する。 <学習のポイント> 青年期の課題である自立や男女の協力などについて理解 し、青年期をどのように生きたらよいのか考える。 乳幼児保育の重要性を認識し、乳幼児の心身の発達の特 徴を理解する。 高齢者の心身の特徴や生活について理解する。
	7	第4章 社会とかかわる 1 支えあう暮らしとは 2 地域で暮らす、みんなで暮らす [期末試験]	
2 学期	8		中間試験 10月6日(火)～8(木) <範囲・到達目標> <学習のポイント>
	9	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる 1 私たちの食生活を見つめる 2 栄養と食品のかかわり 調理の基礎技術(野菜の切り方・計量等)	
	10	3 食品の選び方と安全 4 食生活をデザインする 5 これからの食生活を考える 調理実習 ・フォンダン・パースー ・マカロニグラタン	期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> p74～p134 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家 庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につけ る。 <学習のポイント> 栄養素の基本的な知識、調理の基礎技術について理解す る。栄養所要量や食品群別摂取量の目安を理解し、家族 の1日の献立作成ができるようにする。 衣服の機能、繊維の種類と特徴、表示等を理解し、用途 に応じた素材の選択ができるようにする。 資源、環境にも配慮した適切な衣服計画ができるようにす る。
	11	・ロールケーキ ・餃子 第2章 衣生活をつくる 1 人はなぜ衣服を着るのか 2 衣服は何かからできているのか 3 健康的で快適な衣生活をつくる [期末試験]	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える 1 主体的な消費行動 2 消費者の権利と責任 3 資源・環境を考える	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) < 範囲・到達目標 > p138～p173
	2	第2章 経済的に自立する 1 経済のしくみを知る 2 計画的にお金を使う	
	3	生活設計 [期末試験]	< 学習のポイント > 快適な室内環境について理解し、家庭内事故や災害について取り上げ、安全な住まい環境について考える。契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法などについて理解すると共に被害にあった場合の解決方法も理解する。 生活設計について考え、長期の経済設計の必要性を理解する。

学習上のアドバイス	
<p>生活に密着した学習</p> <p>家庭科は、自分らしい生き方・暮らし方を見つけ、創り上げていくために必要な知識と技術を学ぶ科目です。授業では、衣食住、家族、保育、消費生活など家庭生活の様々な事象を取り上げ、社会と生活・人との関わりについて幅広い視点から学んでいきます。授業で学んだことを自らの生き方と照らし合わせ、「自分だったらどうするだろうか」と常に問いかける姿勢が大切になります。</p> <p>実践的・体験的学習の充実</p> <p>家庭科での学びは日常生活で生かされてこそ、その力を発揮します。そのため、出来るだけ実践的・体験的学習を取り入れていきたいと考えています。これらの学習を通して日常生活に生かせる技能や技術を身につけると共に、学習内容の理解を深めていくことが重要です。様々な事柄について意見を交換し合い、考え方の幅を広げていくことも重要な体験的学習です。授業に積極的に参加し、クラスメイトと相互に話し合い、考え、学び合いましょう。</p> <p>問題解決能力の育成</p> <p>私たちは一生の間に数多くの問題に直面します。日常生活の些細なことから、人生の転機となるような大きな問題まで、私たちの人生は問題解決の連続といってもいいほどです。様々な問題を自分で解決できるような力を身につけることはとても大切です。授業を通して、自分にとってのよりよい生活を創り上げるために必要な判断力や問題解決能力を身につけましょう。</p>	
評価の観点および方法	
<p>評価の観点および方法</p> <p>(1) 定期試験(期末試験)</p> <p>(2) 課題・宿題、その他のテスト</p> <p>(3) 遅刻・欠課等の勤怠状況</p> <p>(4) 日々の授業態度</p> <p>(5) 実習の記録(製作状況・達成状況・完成度・提出日厳守など)</p> <p>以上5項目を総合的に判断し、評価します。</p>	
推薦参考書・問題集等	